

科目ナンバリング		U-LAS04 10001 LJ47							
授業科目名 <英訳>	教育学 I Pedagogy I			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 久保田 健一郎				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	木3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
<b>[授業の概要・目的]</b>									
<p>本授業は、学校教育を軸として、近代以降の日本の教育の概観、学校教育を支える思想やその歴史、現代の教育の諸問題を学んでいく。その際に教育人間学のアプローチを採用する。教育人間学とは、教育に関して自明に思われていることを、その根底から疑って考察するものである。こうしたアプローチによって、教育に関する事象をより深く理解することが可能になる。</p>									
<b>[到達目標]</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の学校教育についての歴史と現状を理解する。</li> <li>・学校教育を支える思想、歴史を理解する。</li> <li>・学校教育に関する現代的諸問題とその背景について理解する。</li> </ul>									
<b>[授業計画と内容]</b>									
<p>基本的に以下の計画に従って授業を進めるが、講義の進行具合によって、講義回数が異なることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育とは何か</li> <li>2. 日本教育小史 - 前近代から近代へ -</li> <li>3. 日本教育小史 - ポストモダンにおける教育 -</li> <li>4. 教育必要性について 野生児の事例の紹介</li> <li>5. 教育必要性について 野生児の事例の考察</li> <li>6. 近代教育の思想</li> <li>7. 子ども観の歴史とこれから</li> <li>8. 子どもたちの力学 - スクールカーストの事例から -</li> <li>9. 子どもたちの力学 - スクールカーストの考察 -</li> <li>10. ゆとり教育の理念と実際</li> <li>11. 学力とは何か</li> <li>12. 乳幼児の教育</li> <li>13. 現代の教師</li> <li>14. 新自由主義と教育・諸外国の教育の動向</li> <li>15. フィードバック(フィードバック方法は別途連絡します)</li> </ol> <p>授業回数はフィードバックを含め全15回とする</p>									
<b>[履修要件]</b>									
特になし									
----- 教育学 I (2)へ続く -----									

## 教育学 I (2)

### 【成績評価の方法・観点】

平常点（50点）と期末レポート（50点）で評価します。平常点は課題提出（25点）と授業への参加度（25点）に応じて評価します。期末レポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。期末レポート提出のみで単位が出る授業ではないことを理解した上で、受講して下さい。

### 【教科書】

LMSに授業資料を提示します。

### 【参考書等】

（参考書）  
授業中に紹介する

### 【授業外学修（予習・復習）等】

日頃から教育のみならず、幅広く社会問題に興味を持つことが最大の予習です。復習は紹介した参考文献などから、各自深めていってください。

### 【その他（オフィスアワー等）】

授業内容に関心がある方のみ受講して下さい。例年、履修者が多く、抽選になりやすい授業ですので、単位取得のみに関心がある学生の受講はご遠慮ください。  
授業方法に関しては、講義が中心になりますが、映画鑑賞、グループワーク、課題提出を織り交ぜた授業になります。

### 【主要授業科目（学部・学科名）】